別紙様式(2)-1

受託研究員調書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 履　　歴　　事　　項 | ふりがな  氏　　　　　　名 |  |
| 生年月日 |  |
| 本籍地  （国籍）  （※１） |  |
| 現住所 | TEL　　　（　　　） |
| 勤務先 | （名称）  （住所）　　　　　　　　　　　　　TEL　　　（　　　）  （職名） |
| 最終学歴  （※２） | 年　　　月　　　　　　　　　　　　卒業・修了  （区分）　　　Ａ　　Ｂ　　Ｃ　　Ｄ　　Ｅ |
| 職　　　　　　歴 | 年　　　月 |
| 希　望　事　項 | 受入区分  （※３） | □新規　　□更新  これまでの研究期間：　　年　　月　　日～　　年　　月　　日 |
| 研究題目 |  |
| 指導教員及び部局名 |  |
| 研究期間  （※４） | 年　　月　　日　から  　　　　年　　月　　日　まで　　　（　　　か月） |
| 研究料  （総額） | 円 |
| 請求書送付先 | | 〒  担当者氏名　　　　　　　　　　　　TEL　　　（　　　） |
| 備考 | |  |

※受託研究員が創出した知的財産の取り扱いについては、研究員等取扱規程第10条による。

（記入注意事項）

※１．「本籍地欄」は、都道府県名のみ記入すればよい。外国人については、国籍を記入すること。

※２．「最終学歴」欄の「区分」に、大学院博士（後期）課程修了者は「Ａ」、大学院修士（前期）課程修了者は「Ｂ」、大学卒業者は「Ｃ」、大学卒業者以外で学位授与機構により学士の学位を授与された者等学校教育法第102条で定める大学院に入学することができる者は「Ｄ」、研究員等取扱規程第3条により部局長が学校教育法第102条で定める大学院に入学することができる者に準ずる学力があると認めた者は「Ｅ」の別により、該当するものに○を付す。

※３．新たに受け入れる場合は「新規」に、受入期間を更新する場合は「更新」にチェックを入れるとともに、これまでの研究期間を記入すること。

※４．今回申し込む研究期間を記入すること。なお、受託研究員の研究期間は、原則、1年以内とし、その期間は受入れを許可された日の属する年度の範囲内とする。複数年度での受入れについては、本学の部局長が認めた場合にのみ許可する。